

S-TEAM 教育推進事業 「STEAM」 推進プロジェクト  
外部連携支援事業（学校活用型）実施報告書

学校名	北海道函館西高等学校
実施日時	令和6年（2024年）11月22日（金） 13:50～15:00・15:50～16:40
講師	<p>（所属） お茶の水女子大学  （職・氏名） 助教授・毛内 拓  （連絡先電話） 03-5978-5303（内線5303）  （電子メール） monai.hiromu@ocha.ac.jp</p>
実施概要	<p>1 ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「脳科学」という題材の講演を通じて論理的、批判的に考える力を伸張する。</li> <li>・様々な事例をもとに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。</li> </ul> <p>2 日程</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・13:50～15:00 探究講演会（2年次生徒対象）</li> <li>・15:50～16:40 探究懇話会（希望生徒対象）</li> </ul> <p>3 講義、実習等の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・探究講演会（220名参加）  講師自身が商品開発の際に大切にしている「今までにないサービスを創る」ということや、生徒がこれからの進路等、将来を考える際に考えてほしい「なりたい自分からありたい自分を想像すること」について、講演いただいた。</li> <li>・探究懇話会（希望生徒20名参加）  主に理系の生徒や、人体に関する探究活動を行っている生徒が参加した。現在、生徒が行っている探究活動に関して専門的な知識をもった毛内先生に聞くことで、探究活動をさらに進めるための気付きを得ることができた。</li> </ul> <p>4 成果（生徒・教員の変容及びねらいの達成状況等）</p> <p>○ 知識・理解の向上</p> <p>(1) 生徒の学び</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・脳の大きさは、頭の上と関係ないことを知ることができた。</li> <li>・睡眠と認知症の関係を理解することができた。</li> <li>・認知バイアスの存在を学ぶことができた。</li> </ul> <p>(2) 新たに得ることができた視点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・脳は人間の行動や気持ちを大きく影響する器官であることを理解することができた。</li> </ul>



・脳科学の知見が日常生活や探究学習に役立つことを認識することができた。

○ 生徒の振り返りから分かる教育効果（思考・判断・表現）

- ・事例が豊富で、分かりやすい内容であったと生徒から高い評価を得た。
- ・錯覚についての実際の体験活動等もあり、生徒たちは実感を伴う講演を聞くことができ、教育効果も非常に高かった。
- ・探究の相談を行った生徒もおり、事後の学習意欲の向上が見られた。

【参考】

